

平成25年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472800349	事業の開始年月日	平成13年1月1日	
		指定年月日	平成13年1月1日	
法人名	有限会社あかつき			
事業所名	グループホーム あかつき			
所在地	(257-0031) 神奈川県秦野市曾屋 555-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	9名	
		ユニット数	1 ユニット	
自己評価作成日	平成26年1月17日	評価結果 市町村受理日	平成27年6月12日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wpjDetails.aspx?JGNO=ST1472800349&SVCD=320&THNO=14211
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成26年2月26日	評価機関 評価決定日	平成26年6月16日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

平成12年に法人を設立して運営する「グループホームあかつき」は、平成13年1月に開設しています。平成24年3月に秦野駅からバスで高砂車庫の終点から徒歩3分ほどの現在の場所へ移転して3年目を迎えようとしています。法人代表でもある管理者が約10年の経験を基にアイデアを出した建物で利用者の自己決定を重んじているグループホームです。

<優れている点>

利用者の自己決定を重んじています。利用者一人ひとりのやりたいこと、やりたくない事を考え、その時その時に合った言葉掛けに工夫して支援しています。建物全体に発泡型の断熱材を使用し、夏は涼しく冬は暖かくしています。廊下にカメラを設置し、居室の入口と玄関方向が見れるようになっています。輝くような床材を使用し、バリアフリーの設計になっています。廊下の天井裏を収納スペースとして設計しています。居室の広さも十分あり、リビングの天井も高く開放感のある空間としています。その他、職員の休憩室も整備しています。

<工夫点>

入所の希望者には必ず「体験入所」をしてもらい、他の利用者との関係性などを考えお試しの期間を設けています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム あかつき
ユニット名	

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者主体とした理念を作り実践している	理念は、入口、キッチン、職員休憩室に掲示しています。管理者は職員の入職時に理念について説明しています。また、日頃から、利用者の自己決定を尊重した支援に努めるよう、職員に伝えています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日々の外出時にご近所の所より声を掛けて頂いたりと交流している		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等で行っている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの状況を細かく報告、説明をし、意見・要望があれば、サービス向上の元として活かしている	2ヶ月に1度開催しています。自治会長、高齢者クラブ会長、秦野市の高齢介護課職員、地域高齢者支援センター職員や家族が参加しています。地域の行事や行政からの情報をもったり、家族から行政への質問など、意見を交換しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	月に1度は市の担当課へ行き報告や相談、助言等を行っている。	毎月1度、秦野市の高齢介護課へ空き室情報を報告しています。秦野市保健福祉センターフェスティバルに参加し、市内の他のグループホームと協力し、利用者が作成した作品の展示やグループホームの紹介をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケア等、話し合い、取り組んでいたり、手引き等の回覧をいつでも出来る様にしている	ミーティング時に身体拘束に関して取り上げています。玄関の開閉が音で分り、施錠はしてありません。出て行く人には、職員がついていきます。ベッド上で座位をとって落ちた例がありますが、柵は行わず、前にテーブルを置くなどの工夫と、職員の見守り巡回による介助支援に努めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について話す機会があり、自己点検シートを各自で行い防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修等に参加し、研修報告を行っている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学や契約時に十分に説明を行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に意見・要望を聞いている、利用者の報告等、常に連絡を行っている	家族から率直に意見をもらっています。リビングの雨戸のない箇所は夜間不安に感じる、という意見には、防犯ロックをつけて施錠を2重にしています。食事に煮物を多くして欲しい等の意見には、実際の献立を見せて了解してもらっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度、ケア会議を行い、日々常に職員の意見を聴いている	「あかつき」になじめない利用者がいたことがあり、管理者と職員で話し合いをして「入居お試し期間」を設けるなど、職員の意見が運営に反映しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の動きを把握し、働きやすい環境を作る努力をしている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	市町村や県グループ協議会主催の研修、セミナーへ積極的に参加し各々の知識の向上に努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同業者の集まりに参加し、情報交換等を行っている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族・本人より情報を聞き支援に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族より意見・要望を聞き交流を図り、関係を築いている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、又は家族より情報を集め必要とされる支援の対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者主体を第一に、張りのある生活を心掛けている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族・本人の意向を尊重し本人と共に支える関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方が面会に来たり、家族と話し合い何時でも面会、外泊等が出来る支援を行っている	入居前から毎週日曜日に通った教会のミサにも継続して通える様に支援しています。また、馴染みの美容室に、職員の送迎で行っていた利用者も、今は先方から来てくれています。先方から来てくれます。年賀状が来る人もおり、返信は家族に依頼し関係の継続を図っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、座席の配置等、配慮し支援をしている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も連絡を取り、関係を築いている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	1人1人の意向を把握し配慮しているが、困難な場合は家族と話し合い、支援している	それぞれの思いを把握し、登山の好きな人は、ほとんど毎日長距離散歩に職員と出掛けたり、裁縫の好きな人には、ズボンの裾上げ、台ふきんや清拭タオルのくけ縫いなどをしてもらっています。また、雑誌の文章を書写する人もいて、それぞれの思いに添って支援しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	さり気な会話からの情報を大切にケアに活かせる様努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	細かな心身状態を把握し、個々のペースで過ごし、自身の出来る事を、見守りや促しをしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議にて、見直しやモニタリングを行い、職員の意見・気付き等を参考にプランを作成している	ケアプラン作成担当者は、本人や家族からの意見を聞き、申し送りや個人記録の確認をし、月1回のケア会議で職員からの意見をまとめています。サービス内容に記号をつけて、個人記録に記載し、次のケアプラン作成に反映させています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日報・職員連絡ノートで情報を共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の生活内からの気づきや、面会や連絡時の家族との会話内よりサービスや支援を行っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が安心して地域での暮らしが続けられる様、自治会長さん等との意見交換をしている		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族が希望するかかりつけ医の受診が出来る環境がある。ホーム主治医とも連携し支援している	入居前のかかりつけ医も継続できません。協力医は月2回往診に来ています。また、24時間いつでも連絡がとれる体制を整えています。皮膚科、眼科などの診察が必要な場合、家族の対応ができない場合には職員が同行しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員は在籍していないが、主治医との報告・連絡・相談を密にし対応している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族をふまえて病院関係者との情報交換を行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人の病状・状態により、家族・主治医と共に協議して、本人にとって一番適する対応を行う様努めている	重度化した本人や家族の意向を踏まえて医師と共に話し合っ支援しています。重度化した場合には、医師が家族に説明し「医療に関して」という書面に署名をもらっています。また、秦野市主催の看取りについての研修に参加しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当や初期対応の手順を常に職員の目の届く所へ貼り、ケア会議等で話し合う機会がある		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回ホーム内で避難訓練を行い、消防署への訓練報告を行っている	避難訓練は年2回行っています。事務所には「日勤帯火災対応マニュアル」「夜勤帯火災対応マニュアル」「防災計画避難経路」を掲示して職員に周知しています。	移転して2年目を迎えてようとしています。災害時の地域との相互の協力体制に関して、自治会や近隣の方々と話し合い、取り組んでいく事も期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者1人1人の人格と個別の希望を尊重し支援している	リビングにいる利用者の一人に声をかけたら、そこに居る他の利用者全員にも、一人ずつその人に合った話題で声をかけるなど配慮をしています。また、トイレと風呂場が続いており、排泄時の失敗も、さりげなくプライバシーに配慮して素早くシャワーで介助しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々が自由に自己表出が出来る環境を作っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペース、希望に合わせて支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個々で自立、自己決定の元支援しているが、介助の必要な方は状況に応じて支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備・配膳・下膳・後片付けの手伝いを利用者同士得意な事を分担している	メニュー、食材の買い出し、調理は職員が行っています。利用者メニューを考えたり、芋の皮むき、茶碗拭きを手伝ってくれる利用者もいます。また、餃子、パンケーキ、お好み焼き作りなども楽しんでいます。刻み食、小刻み食にも対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	家族的な料理で栄養摂取し、食事外でも、随時水分補給を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に応じた口腔ケアを食後に行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表があり、個々の状態に応じた支援している	排泄チェック表を参考にさり気ない誘導をこまめにしてトイレでの排泄支援をしています。尿意、便意の能力のあるなしを確認し、オムツからリハパンとパット、リハパンから布パンに変えています。清拭用のホットタオルは、排泄後に使い、喜ばれています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	植物繊維を取り入れた食事の提供、水分補給、散歩等の運動を行い予防している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	時間や曜日は決まっているが、自己決定を尊重し、入浴支援を行っている	ほとんどの人は週に3回入浴しています。自立入浴が可能の人から、全介助で、2人での介助となる利用者もいます。洗い場が広く、介助も行いやすい浴室です。脱衣所には暖房設備もあり温度差に配慮しています。ゆず湯、菖蒲湯のお楽しみ湯も行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の余暇を尊重し休息をし、安眠出来る様、生活リズムを整える様、心掛けている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の内容を把握し、主治医の指示に従い支援している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩・レクリエーション等、個々の意見や出来る事を把握し支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩やドライブ・外食、季節に合わせた行事を行い支援している	散歩は日々こころがけています。職員と食材の買い物に行く人もいます。初詣に行き、おみくじと甘酒を楽しんでいます。また、お花見や戸川公園へドライブに出かけたり、通院の帰りにも馴染みの場所や景色の良い場所を通るなど、戸外に出る機会も多くあります。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員管理の元、個々の財布を所持し、買い物出来る環境を作っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の意思を尊重し支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や個々で作った物を展示したり、季節に合った装飾をしている	居心地よく過ごせるように建物全体に発泡型の断熱材を使用し、輝きのある床材を使用しています。季節を感じられるように季節に合った装飾や飾りつけ、作品を掲示しています。テーブルの配置にも利用者同士の相性を考えて工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自席があり、利用者同士で席を移動し、思い思いに過ごしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の馴染みの物、使い慣れた物を取り入れ、個々に応じて心地よく過ごせる様配慮している	建物全館に断熱材を使っている為、居室も暖かく快適です。直に畳を敷く人もいますが、暖かな寝床になっています。出入口は引き戸になっており、広く、車いすも楽に出入りできます。机、タンス、テレビなどお気に入りを持ち込み、安住の場になっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	転倒等が予測される箇所への手すりの配置、居室扉の表札、目印等を付け自立支援につなげている		

平成25年度

目標達成計画

事業所名 グループホームあかつき

作成日：平成 26年 3月 31日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	災害時等における地域との協力体制の構築。	地域の方々との関係をより深められ、気軽にホームへ立ち寄る事や、行事等にも参加出来る様、色々な接点から積極的にホームをアピールして行く。	自治会のイベントへの参加をするなどし、地域の方々にホームに馴染んでもらい、行く行くは避難訓練等に参加して頂き、実際の災害時にも協力して頂ける様な関係の構築を目指す。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月